

財団法人三井文庫所蔵長崎貿易関係史料目録の作成

賀川 隆行：財団法人三井文庫

三井家は中野用助の名前で五ヶ所本商人に加わり、長崎会所で落札した荷物を京都長崎問屋や大坂の唐反物五軒問屋に送ったが、初期には越後屋京本店に直送もしていた。寛政期に荒物、薬種類の落札を開始してからは大坂唐薬種問屋にも荷物を送るようになり、根証文高を利用して荷為替・並合貸も行うようになったのである。そのような経緯があったために、三井文庫には長崎貿易に関する史料が比較的大量に残されている。本商人は経営が不安定で長続きするものが少なかったために、その関係史料は国内でもあまり残されていないが、その意味でも三井文庫の長崎貿易関係史料はかなり価値が高いといえることができるのではなかろうか。この目録は『三井家記録文書目録』の中より長崎貿易関係史料を抽出して掲載した。越後屋長崎方経営を中心として流通・取引関係の史料を載せたが、長崎出島売込の青貝屋、紀州藩の長崎産物御用、対馬藩の朝熊輸入品直買の深江屋、対琉球・鹿児島藩関係、三井大坂両替店が引き受けた大坂銅座御用関係、そして最後に朝鮮人、琉球人来朝国役銀関係などの史料も併せて掲載した。これらは三井文庫においてすべて公開されているものであり、記載様式は『三井家記録文書目録』にしたがい、表題、年代、作成者、原所蔵者、番号の順とした。

この史料目録の目次の表題と史料点数は以下の通りとなる。

越後屋長崎方		
1	長崎方申渡書	4 3点 長崎方申渡之覚
2	長崎方記録書	1 8点 会所諸用留 長崎諸用留
3	長崎方目録	5 6点 目録帳 長崎方目録
4	長崎方貸預金	6 3点 長崎方金銀貸預寄 金銀差引帳
5	長崎方有高	1 8点 長崎方有物調
6	長崎方塞物調べ	3 5点 長崎方塞物関係書類
7	長崎方落札関係	4 7点 直積帳 荒物薬種売附帳
8	五ヶ所本商人	1 6点 三方申合条目等
9	中野用助	1 7 7点 中野用助神文(五力所本商人)
10	中村茂吉郎	7点 中村茂吉郎請書(五力所本商人)
11	上田嘉左衛門	2 7点 長崎商売向二関スル申堅
12	長崎加勢人	4 7点 未永市郎次神文等
13	阿蘭陀交易	1 6点 唐阿蘭陀商法大意等
14	新規根証文	1 3点 御手頭写し(嘉永期の根証文仕法改変)
15	紅毛方御用	1 5点 紅毛御用諸用留(異国人への呉服売込)
16	長崎方売出関係	3 7点 長崎唐物商売請合証文

17	京都長崎問屋	20点	長崎問屋口上書
18	菱屋小右衛門	65点	菱屋小右衛門不埒一件(京都長崎問屋)
19	漆屋九兵衛	117点	漆屋九兵衛滞銀割納願(京都長崎問屋)
20	亀屋源右衛門	39点	亀屋源右衛門起請文(京都長崎問屋)
21	菊屋市右衛門	32点	菊屋市右衛門救助嘆願書(京都長崎問屋)
22	海老屋喜兵衛	8点	為御替銀請取手形(京都長崎問屋)
23	大坂唐反物五軒問屋	8点	加賀屋四郎兵衛、小橋屋伊右衛門
24	大坂唐薬種問屋	61点	掛り問屋方へ申堅覚書
25	伏見屋九兵衛	36点	伏見屋九兵衛並合一件願書(唐薬問屋)
26	巻物屋	16点	室町巻物問屋唐物中買新加入一件
27	荷為替并並合貸	23点	荷為替取組一件并並合仕方覚
28	大石平右衛門	24点	拝借銀願書(大坂本店の手代)
29	京本店唐物方	15点	唐物方用事留
30	松原屋惣兵衛一件	17点	松原屋惣兵衛大石一件二付願書
31	長崎御用銅代	9点	長崎御用銅代御用達一件
32	丹	29点	丹取引議定書
33	江戸問屋	3点	唐物類引請取扱致度段
34	長崎宿老森氏	14点	長崎森氏ヨリ認来銀談一件
35	糸荷廻船	12点	長崎より大坂への廻船輸送
36	長崎宰領	15点	長崎宰領口上書
37	日雇	5点	日雇頭太郎兵衛口上書
38	長崎銀札	3点	長崎銀札通用明細書
39	書状	76点	西川武右衛門書状
40	手形	14点	為替証文
41	仕切状	14点	出島砂糖仕切
42	直段書	14点	薬種荒物高下録
43	御触	10点	唐物取締御触留
44	長崎奉行・長崎代官	8点	長崎諸役人附
45	長崎会所	8点	長崎会所御用銀
46	聞書	9点	風説書
	青貝屋	123点	青貝屋武右衛門唐阿蘭陀注文銀高通知覚
	紀州藩産物御用	23点	紀印長崎状之留(長崎交易仕法)
	深江屋	6点	深江屋仁兵衛願(朝鮮輸入品直売)
	大坂銅座	172点	銅座掛屋御用留
	対琉球・鹿児島藩	15点	琉通宝引替方約定覚
	朝鮮人・琉球人来朝国役銀	76点	朝鮮人来朝之節一件

以上でこの目録に掲載された三井文庫所蔵の長崎貿易関係文書の点数は1774点となる。